

10 母子保健

健やか山梨21 - 2008年版 -

<現状と課題>

- 学童の約10人に1人が肥満である
- 子育てに不安を持っている母親が多い
- 低出生体重児が増加傾向
- 10歳代の人工妊娠中絶率は横ばい

基本指針

《取り組みの方向性》

- 母と子の健康づくりの推進
- 思春期における健康づくりの推進
- こどもの虐待防止対策の充実
- 不妊に悩む県民への支援

◆ 評価

目標設定	目標値	ベースライン値	中間評価 あるいは2008 年版策定時	直近実績値	評価
妊婦健康診査受診率	100%	91.3% (H19)	—	前期93.6%(H22) 後期70.4%(H22)	E
はしかの予防接種率	95%	65.4% (H19)	—	I期 95.2%(H22) II期 94.3%(H22) III期 85.9%(H22) IV期 80.0%(H22)	B
生後4ヶ月までの全戸訪問 事業実施市町村の割合	100%	92.9% (H19)	—	100%	A

A 目標に達した B 目標値に達していないが改善傾向にある C 変わらない
D 悪化している E 評価困難

【現状と課題】

○「母子保健」は、県民の生涯を通じた健康づくりを進めるため2008年版に課題のひとつとして取り入れられた。

○妊婦健康診査は、平成20年度から市町村の公費負担回数が5回から14回に増加したため、評価が困難。よって、妊娠継続の重要性を視点として、妊娠前期・後期の実績とした。

○はしかの予防接種率の評価は、I期、II期の幼児期とIII期、IV期の中・高生時期を併せて評価することは困難。よって、それぞれの期の受診率で評価する。

【今後の方向性】

○妊娠期間中に望ましいとされている14回の健診を受診し、妊婦と胎児の健康管理・支援をするためにも早期の妊娠届けと受診回数の増加に向けた啓発を行う。

○望ましいとされる予防接種時期に接種できるよう啓発を行う。特に4期、Ⅳ期については、保護者や生徒の予防接種への認識が高まってきていることから、今後も継続して啓発を行う。

○全戸訪問事業実施状況について評価し、より事業の充実を図る。

【参考】 健やか山梨21推進会議、構成団体の取組みの一部(H23)

山梨県愛育連合会	STOP虐待リーフレットの作成・活用、家庭の養育力研修会
山梨県幼稚園協会	内科健診などでの幼児の身体観察
山梨県看護協会	甲府市まちなかベビーサロン、国際助産師の日(出産教室)
市町村	妊婦健診、母子手帳交付時の相談、赤ちゃん訪問、予防接種勧奨
県保健福祉事務所	母子保健推進会議